



スクールに通う前に(^o^)

自分でがんばる♪はじめての簿記 もくじ

序章	ボキを習う前に	1
	[1] ボキについての予備知識	1
	[2] 数字の書き方	3
	[3] 借方(かりかた)と貸方(かしかた)について	5
	[4] 勘定科目と送り仮名	7
	[5] 複式簿記について	9
	[6] 日商簿記検定とは?	11
	[7] ベンキョーと実務の違い	13
	[8] 日常生活と簿記	15
第1章	簿記って何(^o^)?	17
	1 簿記とは	17
	2 簿記の一連の流れ	18
	3 簿記の目的	19
	4 簿記の種類	20
	5 簿記の前提条件	21
第2章	貸借対照表の作成	23
	1 資産と負債	23
	2 勘定科目とその種類	23
	3 純資産(または資本)	25
	4 貸借対照表の作成	26
	5 自己資本比率	27
第3章	損益計算書の作成	29
	1 収益と費用	29
	2 勘定科目とその種類	30
	3 損益法と損益計算書	31
	4 損益計算書の作成	32
	5 勘定式と形式	33
第4章	簿記上の取引	35
	1 取引とは	35
	2 取引の8要素	36
第5章	仕訳と転記	39
	1 仕訳の手順	39
	2 分記法と3分法	41
	3 仕訳と転記	43
第6章	試算表の作成	49
	1 合計試算表	49
	2 残高試算表	50
	3 合計残高試算表	51
第7章	精算表と財務諸表	53
	1 精算表の役割	53
	2 財務諸表の作成	55
	3 まとめ	57
	〈巻末〉いろいろな資格	59

〔1〕ボキについての予備知識

ボキを漢字で書くと？



です。「簿」を間違えて→「薄」と書く人が多いですが、ボキをベンキョーする前にぜひ知っておきたいです(^_^;)

簿記でやるべきことは？

①書くこと ②計算すること ③整理すること

の3つです。ベンキョーの言葉では、簿記のことを

定められた帳簿に ①記録 ②計算 ③整理すること

と言います。こづかい帳や家計簿も、広い意味では「帳簿」です♪ボキの世界ではたくさんの帳簿があって、それぞれに書き方が決まっています(^_^;)

簿記のしくみはイタリアで生まれました(^o^)日本に入ってきたのは明治時代で福沢諭吉(1万円札で有名)が日本語に訳して広めたと言われています。元々？昔の日本語で出来ているので、簿記で出てくる専門用語は言い回しが難しいものが多いです(^_^;)

簿記を学問的に見ると？イタリアから→フランス・ドイツなどのヨーロッパ大陸に広まった「大陸式」と、そこから海を渡ってイギリスやアメリカに広まった「英米式」があります。実は、日本はその両方のルートから入ってきてるので、どちらもベンキョーすることになります(*^_^*)

簿記で出てくる用語は、例えばこんなカンジです(^o^)

たいしゃくたいしょうひょう
貸借対照表
 貸ではない！

そんえきけいさんしょ
損益計算書

しさん
資産

ふさい
負債

しほん
資本

しゅうえき
収益

ひょう
費用

とうきじゅんりえき
当期純利益

しさんひょう
試算表

せいさんひょう
精算表
 清ではない！

そうかんじょうもとちょう
総勘定元帳

しわけ
仕訳

てんき
転記

他にも？まだまだたくさんあります(*^_^*)♪

序章：ボキを習う前に

〔2〕数字の書き方

簿記では「数字」の書き方がとても大切です。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

特に、他人から見て「紛らわしい数字」はこんな組み合わせです(^_^;)

1	1	と	7	7
4	4	と	9	9
6	6	と	0	0
5	5	と	8	5

金額を書くときには、3桁ごとコンマをつけます(*^_^*)

1,000 30,000 150,000

小数点とコンマはハッキリ区別しましょう(^o^)

3.1415926

小数点はハネない！

30,000

コンマは左へハネる！

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

このような数字は「算用数字」とか「アラビア数字」と呼ばれています(^o^)

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

漢字で書いてある数字は「漢数字」です。手書きの場合は漢数字を用いる場合もありますが、このままでは改ざんしやすいので……(^_~;)

一	が	一
一	が	二
一	が	十
三	が	五

なので、改ざん防止のためにこんな漢字を使います(*^_^*)

壹 貳 参 四 五 六 七 八 九 拾

ついでに(^o^)♪ 100万円のことは

金壹百萬円也

と書きます(*^_^*)

簿記検定では、フツの算用数字(1234...)しか書くことはありません。

〔3〕借方(かりかた)と貸方(かしかた)について

簿記の世界では、「左に書くか？」と「右に書くか？」でプラスやマイナスの意味を持たせることがあります。とりあえず(^o^)

(左側)	(右側)
かりかた	かしかた
借 方	貸 方

というふうに、左右の「呼び名」が決まっています。覚え方としては？



それぞれに「借りる側」とか「貸してる側」という意味はありません。こういう呼び名になった理由は？日本で最初に簿記が広まったのが「銀行簿記」だったから…という説があります。銀行は「お金を集めて→誰かに貸す」のが仕事なので、それらを記録する方法として「銀行から借りてる人の名前」を左側に、「銀行にお金を預けてる(貸してる)人の名前」を右側にかけていたことに由来があるのかもしれない(*^_^*)

ずーっと先にベンキョーするハナシで

たいしゃくいっち げんそく 貸借一致の原則

という言葉があります(^o^)いろいろな記録をしていく上で、「借方」に書いたり「貸方」に書いたり…しても？最終的には借方に書いた金額の合計と貸方に書いた金額の合計は等しくなる！という意味です。一見？ものすごく不思議な気がしますが、実は？もともと1つの出来事を借方と貸方に分けて記録するだけなので→書き間違いや漏れがない限りは「貸借一致」するのが当たり前なのです(*^_^*)

簿記の場合、「計算式」よりも「ハコ」を使って計算することのほうが多いです(^o^)

100	?
2000	
	200

貸借一致なので

$$100 + 2000 = ? + 200$$

$$? = 100 + 2000 - 200$$

$$? = 1900$$

200	?
5000	
	100

貸借一致なので

$$200 + 5000 = ? + 100$$

$$? = 200 + 5000 - 100$$

$$? = 5100$$

150	?
3200	
	300

貸借一致なので

$$150 + 3200 = ? + 300$$

$$? = 150 + 3200 - 300$$

$$? = 3050$$

240	?
1870	
	180

貸借一致なので

$$240 + 1870 = ? + 180$$

$$? = 240 + 1870 - 180$$

$$? = 1930$$

こんなカンジで計算します(*^_^*)

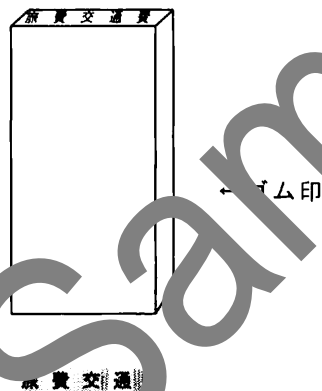
〔4〕勘定科目と送り仮名

簿記の世界では(^o^)

- ・ おカネのことを → 現金(げんきん)
- ・ 売り物のことを → 商品(しょうひん)
- ・ 電車代のことを → 旅費交通費(りょひこうつうひ)
- ・ 借金のことを → 借入金(かりいれきん)

と言います。こういう決まった名前のことを「勘定科目^{かんじょうかもく}」と言います。

今のようにコンピュータが普及してなかった頃は、「勘定科目印」というのがありました。今でも文房具屋さんに行けば売っているはず(^_^*)



勘定科目名は、ほとんどすべて漢字だけです。字数が多くなるとゴチャゴチャと読みにくいし、ゴム印のヨコ幅にも収まりません(^_^;)なので、フツーだったら「送り仮名」がつくようなときも？送り仮名は省略されています。

こんなのも？「勘定科目印」だったらこんなカンジです(*^_^*)

- ・ 売り上げ → 売 上
- ・ 仕入れ → 仕 入
- ・ 受け取り家賃 → 受 取 家 賃
- ・ 支払い保険料 → 支 払 保 険 料

手書きでもパソコン入力でも勘定科目には送り仮名をつけません。

勘定科目名は、例えばこんなのがあります(^o^)

げんきん
現金

とうざよきん
当座預金

ふつうよきん
普通預金

うけとりてがた
受取手形

うりかけきん
売掛金

かしつけきん
貸付金

とち
土地

たてもの
建物

びひん
備品

しはらいてがた
支払手形

かいかけきん
買掛金

かりいれきん
借入金

しほんきん
資本金

そんえき
損益

うりあげ
売上

しいれ
仕入

つうしんひ
通信費

きゅうりょう
給料

しはらいやちん
支払家賃

ざっぴ
雑費

しはらいりそく
支払利息

ベンキョーを進めていくと、まだまだたくさん出てきます＼(^o^)/

〔5〕複式簿記について

フツーは？

簿記のベンキョー = 複式簿記のベンキョー

です。複式簿記の反対語は「単式簿記」と言います。

例えば？これは「単式簿記」です(^o^)

○	月日	摘要	収入	支出	残高
○	6 1	前月繰越	3,260		3,260
○	2	普通預金より	10,000		13,260
○	"	洗剤・その他		500	12,710
○	3	新聞代5月分		4,200	8,510
○	4	コーヒー他		824	7,686
○	"	応接室お花代		2,100	5,586
○					
○					
○					
○					

この帳面は「現金」の動きについて記録しています。

- ・現金が「増えた」とか
- ・現金が「減った」とか
- ・現金が「あといくら」とか

これさえ見れば→現金のことが何でもわかります＼(^o^)/言い換えれば？現金のこと「しか」わかりません(^_^;)あくまで「現金」が主役です。

例えば？複式簿記だったら、6月2日に普通預金からお金を引き出したのを

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	10,000	普通預金	10,000

というふうに記録します。この書き方を見ただけで

- ・現金が増えたんだな(^o^)
- ・普通預金は減ったんだな(^o^)
- ・ということは？→普通預金からお金を引き出したんだな(^o^)♪

これだけのことがわかります。「現金」も主役で、「普通預金」も主役です。

同じく、6月3日に新聞代を払ったハナシは

借方科目	金額	貸方科目	金額
雑費	4,200	現金	4,200

同じく、6月4日にコーヒー代などを払ったハナシは

借方科目	金額	貸方科目	金額
福利厚生費	824	現金	824

というふうに記録されていきます。「現金」が右側(貸方)に書いてあることで、現金が減った(出金した)ことがわかります。その理由として、「雑費」や「福利厚生費」という分類をしていますが、この分類はお店や会社がある程度は自由に決めることができます。

結局は(^o^)? お店や会社の経理では「単式簿記」と「複式簿記」の両方が必要です。

- ・単式簿記は「内容重視」の記録に向いている(^o^)
→買ったものが洗剤だったとかコーヒーだったとかもわかる♪
- ・複式簿記は「金額重視」の記録に向いている(^o^)
→「現金」だけでなく、「雑費」や「福利厚生費」の集計も同時に出来る♪

ベンキョーの言葉では、複式簿記で記録するものを「主要簿」、単式簿記で記録するものを「補助簿」といいます。主要簿と補助簿はそれぞれ違った方法で記録されるので、両方の結果を照合することで→間違いや不正を見つけることも出来ます♪

〔6〕日商簿記検定とは？

よく聞く「日商簿記」とは(^o^)?

日本商工会議所が主催している簿記の検定試験

です。みなさんの街にも商工会議所があると思います。日商簿記検定は全国一斉に統一された内容で行われています。

あまり知られていませんが…(^_^;)

日商簿記検定は「4級」からあります。4級→3級→2級→1級の4段階で、どれも特別な受験資格はありません。学歴・年齢・国籍などカンケーなしに、誰でも受験出来ます。3級と1級が午前実施、4級と2級は午後実施なので、最大2つの級を同日に受けることも可能です。

4級	昼1:30～	商業簿記(100点)	1時間30分	70点以上で合格
3級	朝9:00～	商業簿記(100点)	2時間	70点以上で合格
2級	昼1:30～	商業簿記(60点) 工業簿記(40点)	両方で2時間	合計70点以上で合格
1級	朝9:00～	商業簿記(55点) 会計学(25点)	両方で1時間半	合計70点以上かつ 各科目10点以上で合格
		工業簿記(25点) 原価計算(25点)	両方で1時間半	

(注)受験するときは必ず最新の情報を確認してください

日本商工会議所 簿記検定ホームページ <http://www.kentei.ne.jp/bookkeeping/>

試験日は(^o^)? 1級だけは年2回ですが、あとは年3回あります。毎年6月の第2日曜日と11月の第3日曜日、2月の第4日曜日です。2月は1級がありません。

申し込みは地元の商工会議所や大きい本屋さんで出来ます。証明写真も必要です。地域によって受付期間が違うので、早めに問い合わせをしておきましょう(^o^)

よく聞かれる質問で

「何級から履歴書に書けますか(^o^)?」

というのがあります(^_^;) 結論から言うと?自分が書きたいと思えば→堂々と書けばええと思います。年齢や応募する職種によっても変わってきます。実は?「いつ取得したか?」も採用側にとっては気になる情報です。

どの資格もそうですが、資格をってるから「即戦力」というわけではありません。資格をってることでアピール出来るのは

- ・コツコツ努力する姿勢…とか
- ・その業界に興味があること…とか
- ・物事を計画的に進められること…とか
- ・しっかりと結果を出すこと…とか

そういう「能力」です。専門知識があることを証明するものではありません(^_^;)

もう一つ、よく聞かれる質問は

「簿記検定は年々難しくなってますか(^_^;)??」

です。もちろん年々難しくなっています。10年前の2級だったら?今の3級のほうが難しいかもしれぬ。

難しくなってきた背景として…

- ・簿記のスクールが増えた
- ・市販されてる教材がメチャメチャ増えた
- ・ある程度の経理知識は「一般常識」になってきている

ことが挙げられます。スクールに通えば→ある一定レベルまではカンタンに学べるし、本屋さんに行けば過去問題集でも参考書でも何でも売ってます(^o^)それでも?時代が変わっても検定試験の合格率は、長い目で見ると?それほど大きく変わってはいません。どんな時代になっても「他人よりもがんばった人」が合格することに変わりはありません(*^_^*)

〔7〕ベンキョーと実務の違い

よく「簿記検定のベンキョーなんて、実務の役には立たない(-_-)」という人がいます。実際に、長年にわたって経理実務をしている人の中には「検定」なんて持っていない人もいるし、逆パターンで？日商1級に合格してる人でも→初めて実務に就いたらわからないことだらけだと思います(^_^;)

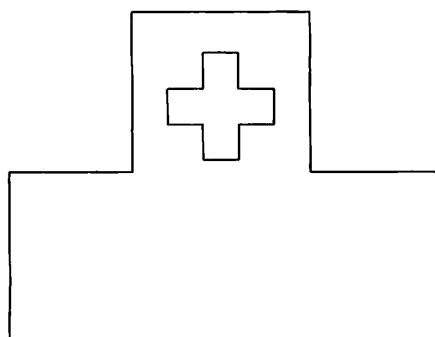
まず、1つめの理由としては

業種ごとにいろいろな簿記がある

ことが挙げられます。簿記検定でベンキョーするのは「商業簿記」と「工業簿記」だけなので、それ以外の業種だと？見たこともない項目がいっぱい出てくるはずですよ(^_^;)

- ・ 商業簿記＝「販売業」のための簿記
 …商品を仕入れてお客さんに売るのがメイン
- ・ 工業簿記＝「製造業」のための簿記
 …製品を作るのにいくらかかるか計算するのがメイン

世の中には、これ以外に業種がたくさんあります。「農業」「漁業」「林業」「建設業」「銀行業」「保険業」「学校」「病院」「宗教法人」「社会福祉法人」「NPO法人」……これらすべてにその業界用の簿記があるのです。借方・貸方などのハナシは同じでも、それぞれに特徴があります。業種別の簿記を学ぶには？やはりその「業界」についての知識が不可欠になってきます(^_^;)



病院では「いらっしゃいませ(^o^)」とは言いません
 それと同じく「売上」という言い方はありません(^_^;)

もう1つの理由は

実務では「税法」の影響を受ける

ということです。簿記でベンキョーしているのは「税法」ではありません。「お店や会社の財産がいくらあるか？」とか「商売が儲かっているか？」を正しく計算するためにベンキョーしています。税法はもともと

同じ条件なら→同じ金額の税金を負担してもらう

という意味での「公平性」に重きを置いているので、個々の会社の事情についてはほとんど考慮していません(^_^;)それよりも？

- ・こんなときには→こういうルールで…とか
- ・あんなときには→あんなルールで…とか

いろんなことに細かいルールを決めて、その通りに当りはめて計算すればいいように作られています。

…別の見方をすれば(^_^;)？

少なくとも税務署に出す書類は「税金がいくらになるか？」を間違えなければいいだけなので、細かい分類は必要ではありません。

「応接室のお花代」は

→「雑費」でも？「消耗品費」でも？税金自体は同じです(^_^;)

「コーヒー代」も

→「雑費」でも？「消耗品費」でも？「福利厚生費」でも同じです(^_^;)

ちなみに？実務の世界では「経費に落とせる」とか「経費に落ちない」という言い方をよく耳にします。これは

税金の世界で「費用」として認められるのかどうか(^_^;)？

という意味です。認められるのなら税金がかかるし、認められないのならその分の税金が多くなる！ということです。

〔 8 〕 日常生活と簿記

「ボキ的な考え方」が身に付いてくると(^o^)?

【例1】「食費」って何(^_^;)?

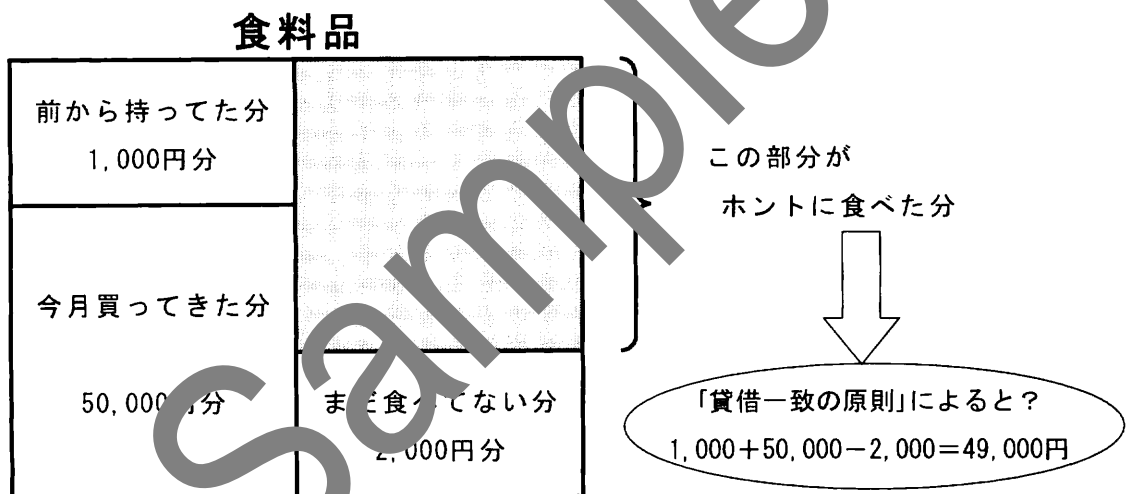
フツーは?スーパーとかコンビニとかで買った食料品のレシートを合計したりして計算すると思います。この場合は

$$\text{食費} = \text{買った分}$$

です。ところが?ボキ的には...

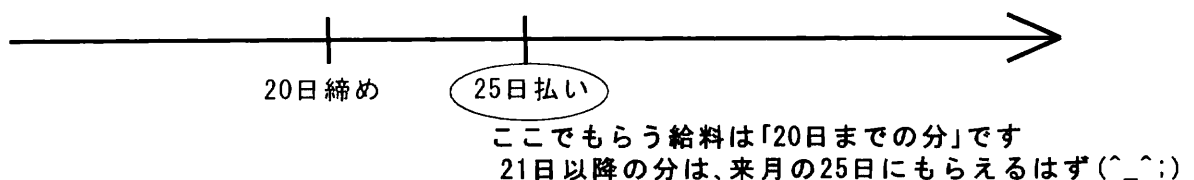
$$\text{食費} = \text{ホントに食べた分}$$

というふうに考えます。食料品の「在庫」をどれだけ持っていたか?も計算に入れて考えないといけません。



【例2】「今月の給料」っていくら(^_^;)?

フツーは?今月の給料日にもらった金額が「今月の給料」ですが、それって具体的には何日までの分か?払う側にしてみれば「〇日締め×日払い」というのを決めているはずで。



ボキ的には?「1日から月末まで」が今月の給料です(^o^)